



歌はもちろん、トークでも楽しませてくれました

「新春ダックスムーンコンサート in 田中」が開催されました

1月23日、峰栄館で「J・Aみどりの広場」のテーマソングでおなじみの「ダックスムーンコンサート」が行われました。

このコンサートは田中自治会体育文化部(若狭武彦部長)の主催によるもので、「地域のつながりと活力をあなたに」をテーマに開催され、約90人の方々が会場に訪れました。コンサートでは、アンコール曲を含め全13曲を披露し、二人の息の合ったハモニーが会場を魅了。また、曲間ごとに展開されるトークでも笑いを誘いました。

また、コンサート終了後にはお楽しみ抽選会も行われ、楽しく交流を深めた一日となりました。

- 一般の部
 - 1部 優勝 KADOWAKI
 - 2部 優勝 ブザービート
- ミニバスの部
 - 女子 優勝 八森小
 - 中学生の部
 - 男子 優勝 峰浜中
 - 女子 優勝 能代東中

1月23日・24日の2日間、町バスケットボール協会が主催する全町バスケットボール大会が八森中学校体育館で行われました。

大会には、小学校女子や中学校男女、一般などの4部門に27チームが参加し、白熱した好ゲームが展開されました。

なお、大会結果は次のとおりです。



随所に好プレーを披露

好試合や好プレー披露 全町バスケットボール大会

1月6日、秋田建築労働組合能代支部(伊藤忠夫支部長)より町のシンボルであるハタハタをかたどった壁絵(セメント彫塑ついで)が寄贈されました。

当日は、伊藤支部長と組合員で製作者の尾張純一郎さん(能代市)が役場を訪れ、縦1メートル、横1.2メートルの壁絵を玄関に設置しました。

デザインは皆さんご存知のハタハタキャラクターで、躍動感たっぷりに表現されています。役場へご来庁の際は、ぜひご覧ください。



左から、加藤町長、尾張さん、伊藤支部長

秋田建築労働組合能代支部よりハタハタの壁絵が寄贈されました



無病息災を願って餅を焼きました

小正月の恒例行事 白瀑神社どんと祭り

1月10日、お正月の縁起物を燃やす恒例の小正月行事「白瀑どんと祭り」が同境内で行われ、多くの人が訪れました。

境内には、お正月に使ったしめ飾りや門松などが山のように積み上げられ、神事のあとに火がつけられました。

この炎で焼いた餅を食べると御利益があるとされていて、訪れた人たちは真っ赤に燃え上がった炎を囲んで、先端に餅の付いた青竹を伸ばし「今年一年無事でありますように」と無病息災を願いながら餅を焼いていました。

「八峰白神塩もろみ」販売開始

1月12日、八峰白神自然食品株式会社(鈴木勇社長)による「八峰白神塩もろみ」のお披露目がファガスで行われました。

「八峰白神塩もろみ」は、八峰町産の米・麴塩と白神山地から採取した乳酸菌・酵母で作った、無添加の加工調味液です。この日は、町内の食品加工業者など20団体でつくる利用者組合が試作品を持ち寄り、試食を行いました。

翌13日からは、一般向けの販売を開始しました。500mlが600円、2ℓが2,200円、18ℓ19,000円。商品に関する問合せは八峰白神自然食品株式会社(☎76-4755)まで。

2月25日(木)には、町民の方々が参加できる試食会を開催します。皆さんのご参加をお待ちしております。(詳しくはP9をご覧ください。)



好評を得た試作品

八峰白神塩もろみ試食会を開催いたします

先月に販売開始となった八峰町の新たな特産品「八峰白神塩もろみ」を活用した料理の試食会を2月25日(木)に開催いたします。



今回は八峰白神塩もろみ開発に携わった白神カルチャールーム 池田所長が開発した肝いりのメニューが試食できます。

秋田の伝統料理であるハタハタ寿司を始め、鮭のぶなかま、イカ肝の塩もろみ漬け、鮭の肝塩もろみ漬け、ガマズミの塩もろみ甘酒、漬け物など八峰白神塩もろみを活用した10種類ほどのメニューを予定しています。

食品関連事業者のほか一般町民の方も参加できますので、今まで食べたことのない方は是非おいでになられて八峰白神塩もろみの味をお試しください。

なお当日は、メニュー作成した白神カルチャールーム池田所長へ作り方などについて、自由に質問等ができます。

この機会にご家庭でも八峰白神塩もろみをお使いになってみてください。

- 日時 平成22年2月25日(木) 14:00~15:30
- 場所 八峰町文化交流センター(ファガス)
- 参加費 無料
- 問合せ先 八峰町産業振興課 ☎76-4605

はちもり観光市組合 特別養護老人ホームに 旬のタラを寄贈



見事なマダラを寄贈

1月19日、はちもり観光市組合(田村忠悦組合長)が松波苑と海光苑に旬の寒タラ6本を寄贈しました。同組合では施設利用者にも冬の味覚を楽しんでもらおうと、八森産のタラを平成元年から寄贈しているそうです。

この日は松波苑において須藤義孝理事長に手渡され、入居者もタラを持ち上げて記念写真に映じてくれました。

送られたマダラは10~12kg級の大物で、さっそくこの日の昼食にタラ汁として利用者に振る舞われました。